

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)														
ET45G004		発達心理学特論(Developmental Psychology : Lecture)					教育心理学														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員															
選択	2	1	大学院教育学 研究科			氏名 河野 伸子 E-mail n-kawano@oita-u.ac.jp 内線 7612															
授業の概要	子どもの心理的、情緒的、社会的発達が、環境との相互作用の中でどのように進むのか、生物学的側面、心理学的側面など多様な側面から学ぶ。																				
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 乳児期からの子どもの心理的、情緒的発達を理解し、説明できる。																					
目標2 ト라우マやネグレクトの影響を理解し、説明できる。																					
目標3																					
目標4																					
目標5																					
目標6																					
目標7																					
目標8																					
目標9																					
目標10																					
授業の内容																					
1 オリエンテーション																					
2 誕生																					
3 関係性																					
4 共感																					
5 アタッチメント																					
6 生物学と脳																					
7 言語																					
8 記憶																					
9 遊び																					
10 児童期																					
11 思春期																					
12 ト라우マ																					
13 遺伝子																					
14 早期の体験と長期的な結末																					
15 まとめ																					
ラーニング	A:知識の定着・確認					発表およびグループディスカッションを行う。	工夫	その	他の	各自1章を担当して発表する。発表の際は、教科書にない新たな知見も加えた上で発表すること。											
	B:意見の表現・交換																				
	C:応用志向																				
	D:知識の活用・創造																				
時間外学習の内容と時間の目安	準備	各章を読んでくること。																			
	事後	講義中に提示した参考文献、視聴覚教材などを学習すること。																			
教科書	グレアム・ミュージック著 鶴飼奈津子監訳 子どものこころの発達を支えるもの - アタッチメントと神経科学、そして精神分析の出会いと場所 - 誠信書房																				
参考書	講義中に適宜提示する。																				
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10									
	発表	40%																			
	講義中の活発な議論	30%																			
	提出課題	30%																			
注意事項	なし																				
備考	なし																				
リンク																					
	URL																				